

沖縄市生成 AI サービス使用に係る 公募型プロポーザル審査基準

1 審査基準の位置付け

この審査基準は、沖縄市が、沖縄市生成 AI サービスを導入するにあたり、沖縄市生成 AI サービス使用に係る公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置し、選定委員会において、最優秀者等を選定するための方法や審査基準等を定めるものである。

2 契約候補者の選定方法

(1) 契約候補者の選定方法

契約候補者の募集及び選定の方法は、競争性の担保及び透明性・公平性の確保に配慮した上で、公募型プロポーザル方式とする。

契約候補者の選定に当たっては、企画提案内容及び事業遂行能力等を総合的に評価し、最優秀者を選定する。

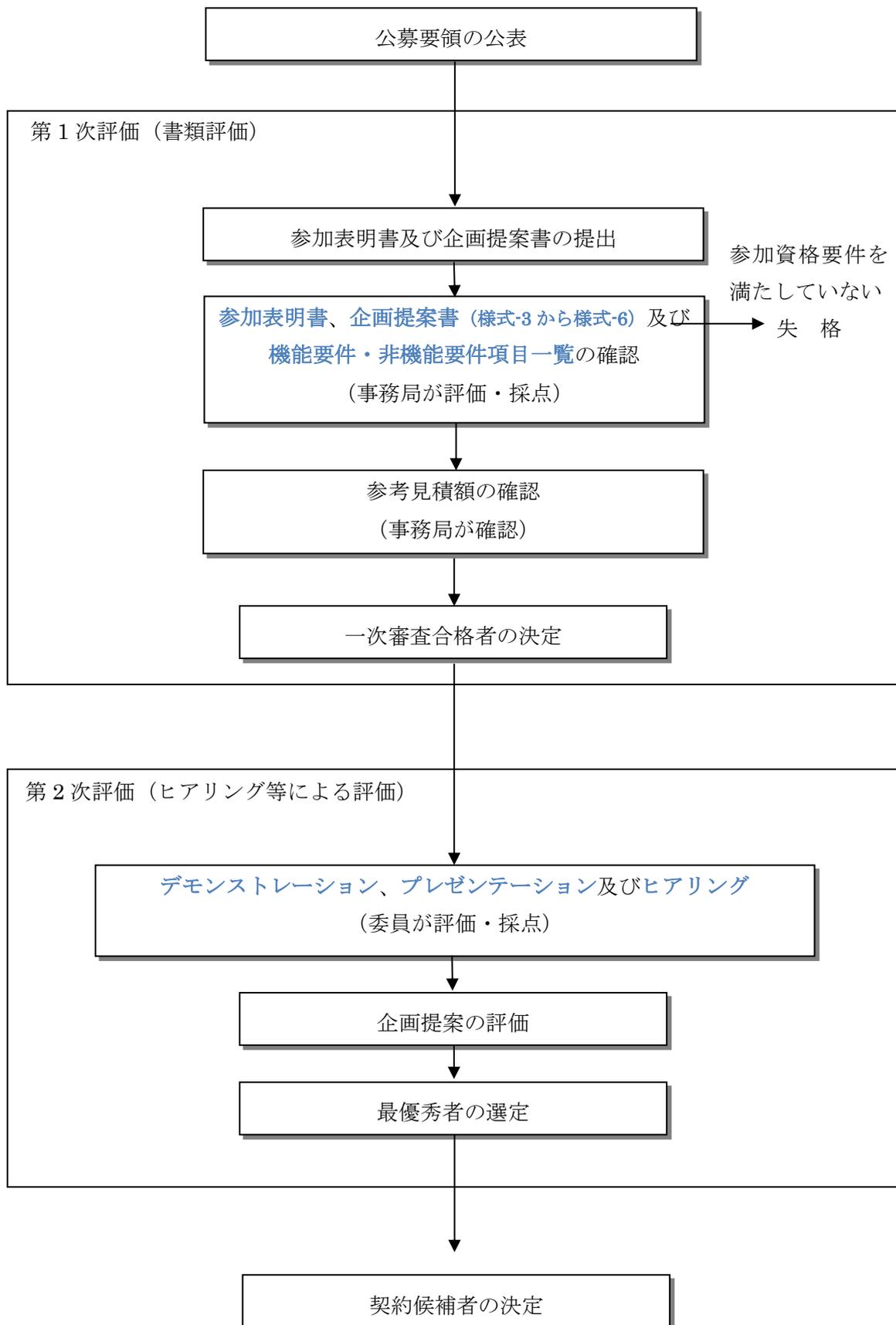
(2) 評価の進め方

評価は、第 1 次評価として参加資格を満たす者の中から、審査基準に基づき、調書や実績表を評価し、第 2 次評価として、第 1 次評価で選定した事業者の中から、審査基準に基づき、企画提案及びヒアリング等の内容を評価する。(図表 1 参照)

(3) 評価体制

選定委員会は、企画提案書及びヒアリング等の評価を行う。また、市は選定委員会の評価結果を踏まえ、契約候補者を決定する。

図表 1 最優秀者選定までの流れ



一次評価

300点満点

(事務局採点 50点満点 + 機能要件・非機能要件項目 250点満点)

沖縄市生成AIサービス導入業務に係る公募型プロポーザル審査基準

評価対象	評価項目	評価するにあたっての視点
企業能力	企業の信頼度	信頼に足りる流動比率か。(流動資産／流動負債)
		信頼に足る自己資本比率か。(自己資本／総資本)
		ISO認証等、業務を委託するにあたって信頼できる資格を有している。
		会社設立から信頼に足る年数(5年)を経過している。
		事業を確実に実施できる従業員数(5名)を有している。
	企業の業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・同種の実績が5件以上ある。 ・または、同種業務は5件未満だが、類似業務とあわせて10件以上ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・同種の実績が4件ある。 ・または、同種業務は4件未満だが、類似業務とあわせて7～9件ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・同種の実績が3件ある。 ・または、同種業務は3件未満だが、類似業務とあわせて5～6件ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・同種の実績が2件ある。 ・または、同種業務は2件未満だが、類似業務とあわせて3～4件ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・同種の実績が1件ある。 ・または、同種業務は0件だが、類似業務とあわせて1～2件ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・同種・類似の実績がない。

一次評価

300点満点

(事務局採点 50点満点 + 機能要件・非機能要件項目 250点満点)

沖縄市生成AIサービス導入業務に係る公募型プロポーザル審査基準

評価対象	評価項目	評価するにあたっての視点
担当者能力	業務の実施体制	遂行責任者は業務指示及び進捗管理ができる役職となっている。
		遂行責任者の所属部署は「AI・DX・IT関連部署」、「技術・システム部門」、「自治体向け営業部門」のいずれかに所属している。
		実地体制は「遂行責任者」、「運用支援担当者(ヘルプデスク)」、左記2名のいずれか、もしくは両方が不在時の「バックアップ要員」の計3名以上で確保されている。
		業務の再委託がない。
	予定担当者の業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・遂行責任者は同種業務の実績が5件以上ある。 ・または、予定担当者と合わせて同種・類似の実績が10件以上ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・遂行責任者は同種業務の実績が4件ある。 ・または、予定担当者と合わせて同種・類似の実績が7～9件ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・遂行責任者は同種業務の実績が3件ある。 ・または、予定担当者と合わせて同種・類似の実績が5～6件ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・遂行責任者は同種業務の実績が2件ある。 ・または、予定担当者と合わせて同種・類似の実績が3～4件ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・遂行責任者は同種業務の実績が1件ある。 ・または、予定担当者と合わせて同種・類似の実績が1～2件ある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・同種・類似の実績がない。

※「機能要件・非機能要件項目一覧」は別紙参照。

二次評価

700点満点

(委員1人あたり 140点満点 × 5名 700点満点)

沖縄市生成AIサービス導入業務に係る公募型プロポーザル審査基準

審査対象 (大項目)	審査基準	審査するにあたっての視点
企画提案 内容評価	(1) 基本的な考え方	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本業務の目的、概要を踏まえて生成AIサービスを活用した職員の業務効率化や市民サービスの向上について、魅力的な提案であるか。 ●本業務について、積極性があり、本市にとって有益な提案であるか。
	(2) 生成AIの構成	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生成AIの言語モデル、機能などは魅力的な提案であるか。 ●自治体が懸念する情報漏洩やAIの再学習、セキュリティ対策などは有益な提案であるか。 ●テロや犯罪、攻撃的な表現の制御、偽情報の出力防止などの対策が取られた提案であるか。
	(3) 導入実績	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他の行政機関や自治体への導入実績は、信頼性がおける実績であるか。 ●生成AIサービスの導入計画や導入手法について、信頼性がおける提案であるか。 ●これまで導入してきた実績を生かし、本市にとって有益な提案が行える知見を有しているか。
	(4) 業務実施体制及び運用保守体制	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生成AIサービスの導入に関わる予定担当者は、本市にとって有益な人材であるか。 ●稼働後のヘルプデスクやサービスデスク等のサポート体制は魅力的な提案であるか。 ●障害時発生におけるサポート体制は魅力的な提案であるか。 ●本市職員の負担軽減となるサポート体制について魅力的な提案であるか。
	(5) 研修・教育	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本市にとって魅力的な教育・研修の提案があるか。 ●職員が自主的に学習するための教育コンテンツやマニュアルがあり、有益な提案であるか。
デモンストレーション 評価	(6) 基本機能、操作性・UI/UX	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●画面やメニュー構成は分かりやすいか。 ●画面の構成やデザインは整理されていて、見た目が魅力的であるか。 ●操作中の反応や動作の早さはスムーズでストレスを感じないか。 ●複数の操作を組み合わせさせて使いやすいか。
	(7) 生成制御・出力制御	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出力される文書は読みやすく、業務で使える内容であるか。 ●出力内容の種類は分かりやすく、豊富であるか。 ●不要な情報や誤った内容が少なく、安心して使えるか。 ●禁止ワードの設定が簡単で、分かりやすいか。 ●生成結果の保存や再利用は簡単で、便利か。

二次評価

700点満点

(委員1人あたり 140点満点 × 5名 700点満点)

沖縄市生成AIサービス導入業務に係る公募型プロポーザル審査基準

評価対象 (大項目)	評価項目 (小項目)	評価するにあたっての視点
デモンストレーション 評価	(8) 情報連携・ナレッジ(RAG)活用	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●登録した情報(ファイルや文書)を使った回答結果は魅力的か。 ●情報の出どころが分かりやすく示され、安心して使えるか。 ●登録したファイルやデータの呼び出し、活用が簡単で分かりやすいか。 ●情報の分類や検索が分かりやすく、すぐ探せるか。 ●情報登録や更新の作業が簡単で、難しく感じないか。
	(9) プロンプト生成 支援	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロンプトのテンプレートを簡単に呼び出せるか。 ●プロンプトのテンプレートを自分で作成したり、他の人と共有できる仕組みが分かりやすいか。 ●テンプレートの分類や検索は簡単で、便利か。 ●初心者でもプロンプトを作成しやすい仕組みが整っていると感じるか。 ●テンプレートの更新・再利用が簡単で、すぐに反映できるか。
	(10) 拡張性・将来性、非機能要件	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言語モデルは豊富で、切り替えや使用は簡単で使いやすいか。 ●問い合わせやトラブル時に対応してもらえる仕組みは分かりやすいか。 ●利用中の通知は分かりやすく受け取れるか。 ●アクセス制御や自動ログアウトなどセキュリティ面の仕組みは分かりやすく、安心できるか。 ●生成結果の履歴や利用ログを簡単に確認でき、安心して使えるか。
プレゼンテーション 評価	(11) 独自提案	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本業務を遂行する上で、予算の範囲内でより良い提案があり、その内容は効果的か。 ●上記以外で、本市に有益と考える提案者独自の生成AIサービスの機能や強みを提案すること。
	(12) プレゼンテーション	<p>評価視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーションが論理的で説得力があるか。 ●担当者としての基本的な技術力を有しているか。 ●企画提案書の内容を十分に理解しているか。 ●質疑への応答は適切であるか。